



## 「モラブアロイ 6040/460 ES “一カストロール”

水（海水や真水）がかかる設備に最適です。

1. 多量の水を使用する設備のベアリングに最適
2. 高い極圧潤滑性を持つため、ベアリングの寿命を延長する。
3. 耐酸化性と防錆性を持つ。
4. 圧延機や連続鋳造機などのジャーナルやアンチフレクションベアリングに  
荷姿:16.8kg、400g×20本



### 「磐高物語」 22

あれは夏休みの前のことだった。校門を出掛かうとしたとき、後ろからタカッシャンの声が聞こえた。

『ターチャン待ってくれ、預かってきたものあつから』と、息を切らせたのの前で止まった。右手に持っていた白い封筒を黙ってわたしに渡してくれた。

『どうしたんだよ、この封筒』

彼はでかい図体を心なしか折って、うつむき加減に話した。

『千賀子さんの兄貴の幹夫さんから、ターチャンに渡してくれてさつき預かったんだ』

彼が心の中で「すまない」と呟いているのが分かった。ただ彼が、一年先輩の幹夫さんと友達だったことはまったく知らなかった。

手紙は開封するまでもなかつた。きれいな文字で「もう、お手紙はご遠慮ください」とだけ書いてあった。頭は真っ白になっていた。タカッシャンの何を話しかけられても、ただ無言で歩いた。

### 『失恋』

帰ると、家は今晚の宴会の準備で大忙しだった。すこし手伝った後、隙を見て家を出た。

外は、梅雨の合間には珍しく満点の星空だった。足は、自然に海の方に向かっていった。夏の海は荒々しく、迫り上がった波が白く砕け、足元にまでやってきた。

この頃流行っていた村田英雄の人生劇場を大声で歌っていた。

あんな女に 未練はないが

なぜか涙が 流れてならぬ

男ごころは 男でなけりや

解るものかと あきらめた

歩いても歩いても、泣いても泣いても涙は止まらなかった。

ややしばらく歩いてから、砂浜に腰を下ろし暗い海をただ見つめ続けた。すると今まで見たこともない不思議な光景を目にした。

迫り上がる波が、青白く光る帯になって現れやがて砕けた。光る帯びは、何度も現れ砕けわたしの目を釘付けにした。

夜光虫が、失恋の私にくれた癒しの心遣いだったのでしょか。

### ☆ あとがき ☆



昨年のゴールデンウィークは、初の海外旅行で上海を訪問させていただいた。今年は台北を訪問したが、どちらも雨にたたられたのが残念でした。

異国では日本のラジオ放送は聴けないが、それでも近くの公園に行って声を出して体操をした。天気はくすんでいたが、台湾の若者達との会話はとても楽しく有意義なものでした。ありがとう。未来は、あなた方の手で。